

<大崎市に住所を有する0から5歳未満のお子さまの保護者様>

ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンについて(大崎市)

平成 25 年 4 月 1 日の予防接種法改正により、ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種の対象ワクチンに追加されました。対象年齢の方は、指定医療機関で早めの接種をお願い致します。

ヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチンについて

○疾病の概要について

インフルエンザ菌 b 型 (ヒブ) は乳幼児に化膿性髄膜炎, 敗血症, 肺炎などの重篤な全身感染症や中耳炎, 副鼻腔炎, 気管支炎など気道感染症を引き起こします。重篤な場合, 命にかかわったり, 聴覚障害, 発達遅延等の重い後遺症が残ったりすることもあります。日本では, 毎年約 450 人がヒブによる髄膜炎を発症し, そのうち約 5%のお子さんが死亡しています。

○ワクチンについて

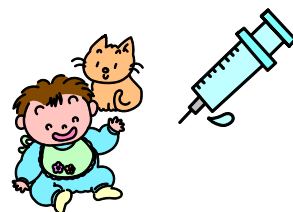
髄膜炎は, 初期症状がかぜ症状と区別がつきにくく, 簡単な検査では診断が付きません。また, 早期診断がついても, 現在では耐性菌が増えているため, 治療が難しくなっています。このため, ワクチンの研究が開始され, 欧米ではワクチン導入後, ヒブ重症感染症は, 劇的に減少しています。

<接種対象者・接種回数等について>

○対象者 大崎市に住所を有する 0 歳から 5 歳未満の乳幼児
(5 歳の誕生日の前日まで)

○費用負担 無料

○接種回数 接種開始年齢により回数が異なります。下記をご参照ください。



<標準的スケジュール>

接種開始年齢が生後2か月以上から7か月未満の場合

- ◇初回免疫は3回、4～8週間の間隔で接種します。
- ◇追加免疫として3回目の接種から7～13か月の間隔をおいて接種します。

(例)



<上記を超えた年齢の場合>

接種開始年齢が生後7か月以上から12か月未満の場合

- ◇初回免疫は、通常2回、4～8週間の間隔で接種します。
- ◇追加免疫は、初回免疫後、7～13か月の間隔をおいて接種します。

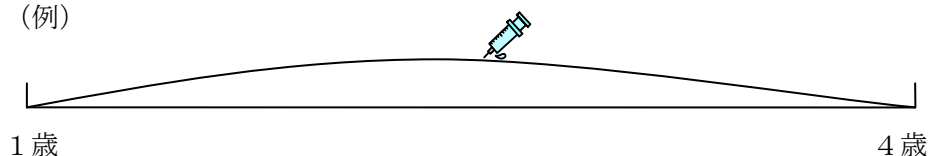
(例)



接種開始年齢が1歳以上から5歳未満の場合

- ◇1回接種します。

(例)



小児用肺炎球菌ワクチンについて

○疾病の概要について

肺炎球菌は、重症の肺炎を引き起こしたり、脳や脊髄をおおっている髄膜に菌が侵入して炎症を起こします。日本では、毎年約200人の子どもが肺炎球菌による髄膜炎にかかり、うち1/3くらいが、命を奪われたり、重い障害が残ったりしています。

○ワクチンについて

子どもで重い病気を起こしやすい7つの血清型について、子どもの細菌性髄膜炎などを予防するように作られたワクチンです。子ども用の肺炎球菌ワクチンは、現在100か国近くで取り入れられ、定期接種をしている国では細菌性髄膜炎などの重い感染症の発症率が下がっています。

<接種対象者・接種回数等について>



○対象者 大崎市に住所を有する0歳から5歳未満の乳幼児
(5歳の誕生日の前日まで)

○費用負担 無料

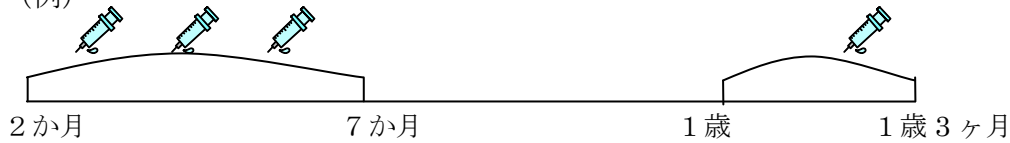
○接種回数について 接種開始年齢により回数が異なります。下記をご参照ください。

<標準的スケジュール>

接種開始年齢が生後2か月以上から7か月未満の場合

- ◇初回免疫は3回、27日以上の間隔で接種します。3回目の接種は、1歳未満に完了します。
- ◇追加免疫として、3回目の接種から60日以上の間隔をおいて、1歳～1歳3ヶ月の間に1回接種します。

(例)

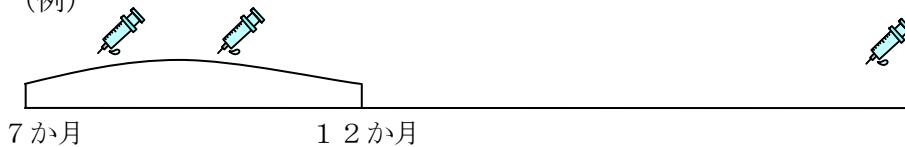


<上記を超えた年齢の場合>

接種開始年齢が生後7か月以上から12か月未満の場合

- ◇初回免疫は、通常2回、27日以上の間隔で接種します。
- ◇追加免疫として、2回目の接種から60日以上の間隔をおいて、1歳になってから、1回接種します。

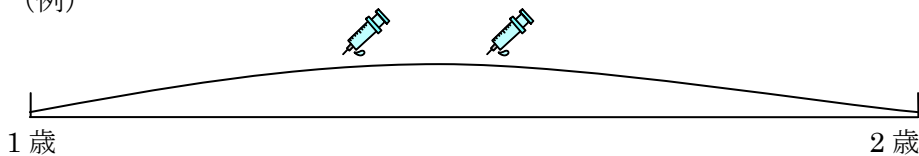
(例)



接種開始年齢が1歳以上から2歳未満の場合

- ◇60日以上の間隔で2回接種します。

(例)



接種開始年齢が2歳以上から4歳までの場合

- ◇1回接種します。

(例)

